



令和6年6月25日

国土交通大学校総務課

第6回 国土交通大学校ウェブフォーラムを開催します

～ 能登半島地震を契機に考える ～

国土交通大学校は、国や地方公共団体等の職員に対して、国土交通行政（土木、建築、測量、まちづくり等）に関する研修を行う国土交通省の研修機関であり、令和6年度は、集合研修を中心に、オンラインも活用しつつ、質の高い効果的な研修を実施しております。

国土交通大学校では、これまでの研修の中で、国土交通行政に関わる第一線の有識者等による講義を数多く実施してきました。このような有識者等の貴重な知見等を、国土交通大学校の研修にとどめず、国土交通行政関係者や一般の方々にも広く展開したいと考え、令和2年度より、オンラインによる講演会を実施しています。

その第6回を、来る8月22日（木）14：00～16：15に「能登半島地震を契機に考える」を全体テーマに開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます（参加は無料。事前登録が必要です。）。

日 時	令和6年8月22日(木) 14：00～16：15
演 題	～ 能登半島地震を契機に考える ～ 14：05～15：05 「能登半島地震を踏まえた教訓と今後の備え」 今村 文彦氏（東北大学災害科学国際研究所 教授） 15：15～16：15 「能登半島地震を機に考える地図の役割」 村上 広史氏（青山学院大学地球社会共生学部 教授）
視聴方法	国土交通大学校HP（ https://www.col.mlit.go.jp/ ）に事前申込み用URLを掲載しております。当該URLから事前登録を頂いたメールアドレスまで当日聴講用のURLをお送りします。参加は無料となります。
【問合せ先】	国土交通大学校 小平校 総務課長 宇田川(内線 2221)、課長補佐 高橋(内線:2223) TEL：042-321-1541（代表）、042-321-1674（直通）

第6回

国土交通大学校ウェブフォーラム

～ 能登半島地震を契機に考える ～

国土交通大学校は、国や地方公共団体等の職員に対して、国土交通行政（土木、建築、測量、まちづくり等）に関する研修を行う国土交通省の研修機関であり、令和6年度は、集合研修を中心に、オンラインも活用しつつ、質の高い効果的な研修を実施しております。

国土交通大学校では、これまでの研修の中で、国土交通行政に関わる第一線の有識者等による講義を数多く実施してきました。このような有識者等の貴重な知見等を、国土交通大学校の研修にとどめず、国土交通行政関係者や一般の方々にも広く展開したいと考え、令和2年度より、オンラインによる講演会を実施しています。

その第6回を、来る8月22日（木）14:00～16:15に「能登半島地震を契機に考える」を全体テーマに開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます（参加は無料。事前登録が必要です。）。

・ 能登半島地震を踏まえた教訓と今後の備え

（14:05～15:05）

今村 文彦／東北大学災害科学国際研究所 教授

能登半島地震では、建物の倒壊だけでなく、土砂災害、津波、火災、液状化など複合的な災害が同時的に発生しました。今回のような災害は全国どこでも起こる可能性があることを認識し、各地で対策の取組みを進めることが必要です。本講演では、能登半島地震を踏まえた被害実態の解明と教訓の整理、将来発生が懸念される地震への備えなどについてご紹介します。

・ 能登半島地震を機に考える地図の役割

（15:15～16:15）

村上 広史／青山学院大学地球社会共生学部 教授

現代に生きる私たちの周りには地図が溢れ、スマートフォンを使えば、世界中の様子を瞬時に手に入れることができます。しかし、私たちはそのような地図の機能を十分理解しているのでしょうか。実は、災害対応でも地図は重要な役割を果たしており、地図なしで災害対応は不可能と言っても過言ではありません。本講演では、能登半島地震における政府の地図活用の取組を例に、日本に住む私たちが知っておくべき地図の機能をご紹介します。

令和6年8月22日（木） 14:00～16:15

どなたでもご覧いただけます。

視聴無料

（事前申込みが必要です）

【開催方法】本フォーラムは
Microsoft Teamsを使用し、
オンライン上で開催します。

主催 国土交通省国土交通大学校小平校

講師紹介



いまむら ふみひろ
今村 文彦

東北大学
災害科学国際研究所
災害評価・低減研究部門
津波工学研究分野 教授

昭和59年東北大学工学部土木工学科卒業、平成元年同大学大学院工学研究科博士後期課程修了。平成3～12年東北大学助教授（工学部）、平成12～24年同教授（工学研究科）を経て、平成24年より東北大学災害科学国際研究所教授（現職）、令和5年より副理事（復興新生担当）。専門分野は、津波工学。研究テーマは、災害科学、歴史地震津波痕跡調査、地形・かたち、避難シミュレーション、認知心理学等。土木学会理事・副会長、同学会原子力土木委員会津波評価部会委員、国土交通省国立研究開発法人審議会委員、同省社会資本整備審議会河川分科会臨時委員、復興庁復興推進委員会委員長等を兼任。

（主な著書）「絆：津波からいのちを守るために（分担執筆）」、「逆流する津波：河川津波のメカニズム・脅威と防災」、「災害記録を未来に活かす（共編著者）」等

（主な受賞）村上處直記念災害研究賞（2023）、濱口梧陵国際賞（国土交通大臣賞）（2020）、防災功労者内閣総理大臣表彰（2016）、科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（科学技術振興部門部門）（2015,2021）、NHK放送文化賞受賞（2014）等



むらかみ ひろし
村上 広史

青山学院大学
地球社会共生学部
地球社会共生学科 教授

昭和56年東北大学理学部物理学科卒業、昭和58年同大学大学院理学研究科博士前期課程修了、平成2年ジョージア大学地理学部博士課程修了。昭和58年建設省（現・国土交通省）国土地理院入省、同省国際課海外協力官、国際連合本部PKO局地図課長、国土地理院企画部長、同参事官、同院長等を歴任し、平成30年退官。平成30年公益社団法人日本測量協会参与に就任、平成31年退任後、青山学院大学地球社会共生学部地球社会共生学科教授（現職）。また同年、株式会社国際航業上席フェローに就任。

専門分野は、写真測量学、地理空間情報学、リモートセンシング、地理情報システム（GIS）等。

（主な受賞）日本写真測量学会ISPRS奨励賞（1992）、The Japan Society of Photogrammetry and Remote Sensing Best Speaker of the Day（1986）等

視聴方法

- ・国土交通大学校のホームページ内の、「国土交通大学校ウェブフォーラム」のページをご覧ください。

<https://www.col.mlit.go.jp/>

視聴環境等

- ・当フォーラムはオンライン上で開催します。
（マイクロソフトTeamsのウェビナー機能を使用）
- ・インターネット環境があれば、通常のブラウザで視聴可能となります。
- ・視聴いただく環境によって、ご覧いただけない場合もあります。
また、視聴にかかる通信費用等は視聴する方の負担となります。
- ・進行により講義の開始・終了時間が変更になる場合があります。
- ・講義内容、資料について、録画、録音、撮影することはお断りします。

お問い合わせ先

〒187-8520
東京都小平市喜平町2-2-1
国土交通省 国土交通大学校 小平校 総務部総務課
電話：042-321-1541